香川県立保健医療大学同窓会会報

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第11号
平成26年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会（すいきゅうかい）
〒761-0123　香川県高松市牟礼町原281番地1
TEL（087）870-1212（代）

同窓会会長代行挨拶（香川会長追悼）

香川県立保健医療大学同窓会　副会長
池田　繁信（独立行政法人地域医療機能推進機構りつりん病院臨床検査技師長）

香川会長の急逝により、同窓会役員会にて会長代行を拝命いたしました池田でございます。僭越ながら同窓会員の諸先輩方を差し置いての会長代行であり恐縮しております。また何分不慣れでこの役目を充分果せるか不安でもあります。今の私の責務としては、前会長から次期会長への橋渡し的役割を与えられたと認識しております。

私は、香川県臨床検査専門学校５期生として昭和56年に卒業し平成17年より香川県立保健医療大学同窓会評議員となり平成24年から副会長として香川前会長より指名を受け、何も気にせず引き受けておりました。それは、香川前会長のリーダーシップと同窓会運営の手際の良さに頼り切りであり、信頼しきっていたからであります。

香川県立保健医療大学同窓会は、平成16年にそれまで看護と検査でそれぞれ別々であった同窓会（看護では、香川県看護専門学校臨床看護学科、同公衆衛生看護助産学科、香川県立医療短期大学看護学科、同専攻科、検査では、香川県衛生検査技師養成所、香川県臨床検査専門学校、香川県立医療短期大学臨床検査学科）を当時の原岡学長の意向で香川県立保健医療大学看護学科、助産学専攻科、臨床検査学科を含め統合され発足しました。そして平成26年４月にこの同窓会の11周年目を期に「翠丘会（すいきゅうかい）」と改名されました。現在3,000名上の会員組織となっております。

香川前会長は、この同窓会初代会長として10年以上歴任されてこられました。ここに改めてその足跡を記すと共に哀悼の意を示したいと思います。香川会長は昭和36年に香川県衛生検査技師養成所２期生として卒業されました。平成５年に香川県衛生検査技師養成所、香川県臨床検査専門学校同窓会会長に就任され、平成６年の香川県立医療短期大学（保健医療大学）設立の際には、社団法人香川県臨床衛生検査技師会長としても設立のための関連団体への働きかけや街頭署名運動を盛大に行われるなど大きく寄与されました。平成11年にさらに香川県立医療短期大学臨床検査学科同窓会長就任、平成16年に香川県立保健医療大学同窓会初代会長として就任されました。

香川会長の逝去は、あまりにも突然でありその余波は会の運営に大きく影響を受けました。しかしながら今後も翠丘会は継続し諸先輩方と後輩を繋ぐ強い絆であり続けなければなりません。来年度の総会で次期会長が決定します。それまでの間、私は会員の皆様方の協力を得ながら、会を盛り立てていければと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

同窓会名称決定

臨床検査学科４年　近藤　歩実

今回、同窓会の名称募集に応募し、まさか自分の考えた名称「翠丘会」に決定されるとは思いもよりませんでした。５月に香川正博前会長より賞状を頂きました。前会長のご冥福をお祈りいたしますとともに、同窓会名称決定に関わられた方々にお礼を申しあげます。

名称を考えるにあたり、本学のイメージを反映できればと考えました。本学の周りは自然が多く緑に囲まれており、小高い丘の上にあること、そして学章がオリーブをモチーフにしていることから、“みどり”と読む「翠」と、場所を意味する「丘」の２文字を合わせ名称としました。

私は現在臨床検査学科に在籍しており、早いもので４年目に突入し、年明けには国家試験を控えています。これからもお世話になっていく同窓会の名称決定に関わることができ、大変嬉しく思います。この名称がこれからの同窓会活動で使用され、今後の同窓会へのますますの発展につながっていただければ幸いです。

卒業生 message

大学院に入学して

Tatsuya Morinishi
大学院臨床検査学分野１年　森西　起也

大学院に入学し、早くも半年が経過した。私は更なる研鑽を積むため進学を決めた。大学院での生活では、自分の知識不足や考えの甘さを痛感することが多くあるが、担当の先生のご指導下、日々研究や、課題をこなしている。学部生との違いで、大変だったことは、英論文を読むことである。入学当初は、論文の探し方や読むことにかなりの時間を要していた。しかし、読んでいくにつれ研究の考え方や、自分の行っている研究について更に理解を深めることができた。また、大学院の授業では、今までの授業を聞くといった受け身の授業だけではなく、与えられたテーマに対しての発表やディスカッションをする機会が多くある。まだ、自分の研究についての発表をしたといった経験はないが、これから発表するといった時にこの経験を活かせるだろう。これから先に、研究発表や修士論文という大きな課題が残っているが、大学院での残りの期間中に力をつけ、乗り越えていきたい。

看護専門学校校歌

Yuka Watanabe
香川県病院局県立病院課　渡邉　由香

看護学校を卒業して30年近くが経ちます。学校時代の思い出はやはり実習でしょうか。

「先生、もう無理です。」「何言うとん。捕って喰われるわけじゃあるまいし。」「いや、いっその事、捕って喰われたほうがましです。」こんな会話が教務室で日常となっていた中央病院での実習。とは言え、実に逞しかった私達。怖いスタッフ攻略のためのマニュアル作り。それはA班からG班まで見事な引継ぎで大きな地雷を踏むことなく、今思えば、厳しさを少し楽しんでいたようにも思います。ただ、先輩看護師から教えてもらったことは今になっても、その場面ごと全部覚えていますし、あんな看護師になりたいと憧れもしました。

かつての私がそうであったように、きっと今の学生も同じ。一生忘れることのない実習の場面で何をどう教えるか、後に続く人たちに何を伝えていくのか。

そんなことを考えながら開いた卒業アルバム。最初の1ページには校歌が記されています。きれいなメロディ。あの頃はただ気持ちよく唱っていましたが、いま改めてその簡潔で深い意味のある歌詞に、私たち先輩の示すべき姿があるように思えたのです。

～明ける屋島の　雲晴れて♪～

Open Campus

平成26年7月26日（土）にオープンキャンパスが開催されました。看護学科は約170人、臨床検査学科は約150人の高校生と保護者の方々が、県内外より参加されました。大学での学びや各学科の特徴が理解できる多彩な企画により、参加者からは「先輩から在学中の話を聞くことができ充実した時間を過ごせた」などの声をいただき好評でした。

在校生 message

看護師を目指して

Riko miyoshi
看護学科１年　三好　理子

私は、幼い頃から看護師という職業に憧れを抱いていました。高校生の時の看護ボランティアや看護体験を通し、憧れが目標へと変わりました。そして高校３年生の進路選択の際、生まれ育った香川県で学び、香川県の医療に貢献したいという思いから香川県立保健医療大学を選択しました。４月に入学し、友人はできるだろうか、勉強についていけるだろうかなど様々な不安もありました。しかし、同級生は優しく明るく積極的な人が多く、毎日とても楽しい日々を送っています。勉強面では、高校生の時とは違い、初めは90分授業に慣れなくて、専門的な知識に戸惑うこともありました。しかし、ずっと学びたかった看護の勉強であり、次第に慣れ楽しくなり、今では90分授業も早く感じます。そして、試験も専門的で広範囲であり、少し戸惑いました。しかし、先生方は授業時間外でも質問に答えてくださり、熱心な指導により、友人たちと助け合いながら勉強をして無事乗り越えることが出来ました。

綺麗な校舎の周りは自然豊かで穏やかであり、勉強に集中しやすい恵まれた環境だと思います。そしてお互いに切磋琢磨出来る同級生、優しく親切な先輩方、熱心な先生方に囲まれ充実した日々を送ることが出来ています。私はこの大学に入学することが出来て本当に良かったと思います。

これから学年があがるにつれ、より専門的な科目が増えたり、実習が始まったりと大変なことが多くなってくると思います。しかし、この恵まれた環境ならば必ず乗り越えられると思います。そして、立派な看護師になれるよう、これからも日々学んでいきたいと思います。

臨床検査技師になるために

Maika Endo
臨床検査学科1年　遠藤　舞香

私は幼い頃から、医療に関わる仕事に就きたいと考えていました。高校１年の時に臨床検査技師という職業を知り、香川県立保健医療大学に進学する事を決めました。入学時、大学生活への期待や嬉しさと共に不安もいくつか感じていました。１つ目は勉強についていけるか（専門的な授業内容を理解できるか）、試験が難しいのではないかなど、色々不安を感じていました。しかし、実際の授業では、難しい内容は例を挙げたり、イメージしやすいように図を使ったり、細かく何度も説明していただけたので、理解が深まりました。また、内容について質問に行くと、先生方は忙しいにも関わらず、時間の許すまで質問に答えてくれます。２つ目は人間関係です。当初、20人という少人数制はかなり不安でしたが、全員が同じ臨床検査技師を目指していることで、すぐに打ち解けることができました。同じ夢を目指す仲間がいることは、刺激になる上に心強く思います。これから、４年間という限られた時間の中で、授業や実習を通してたくさんの知識や経験を吸収し、優秀な臨床検査技師になるために日々努力していきたいと考えています。

第1回 小学生のサイエンスキャンプ

8月19日（火）、小学生を対象にサイエンスキャンプが開催されました。内容は、「①体の自然な動きを体感してみよう」、「②楽に体を動かすコツを体感してみよう」でした。小学生は保護者の方と一緒にからだを動かしたり、保護者の方を動かしたりと体感しながら学習を深めることができました。子ども達からは、「お母さんを簡単に横に向けることができたのが楽しかった」「力を合わせれば、お母さんを持ち上げられることにびっくりした」などの声をいただき、楽しい夏休みの思い出になったようです。

大学祭（槤櫓祭）の同窓会企画「ケンサ&カンゴレンジャー」

血液レッドのコーナーでは、貧血の人の赤血球を観察しました。

今年も一番人気はエコーグリーンでした。たこの吸盤がリアルに見えます。

今年度は、看護と検査の合同出展でした。

かわいい赤ちゃんモデル人形を使用しての育児体験です。

平成25年度収支決算

収入の部

	25年度決算額	25年度予算額	内訳
会費収入	1,962,000	1,800,000	新入会員82名
寄付	0	0	
雑収入	736	500	利子等
繰入金	1,979,853	1,979,853	
同窓会懇親会参加費	74,500	120,000	延べ34名
その他	0	0	
合計	4,017,089	3,900,353	

支出の部

会議費	261,535	470,000	
(1) 総会	188,535	370,000	
講演費	50,000	100,000	
警備費	0	5,000	
電気代	14,971	2,000	
懇親会	108,664	250,000	延べ34名
印刷費	0	3,000	
雑費	14,900	10,000	お花代、クリーニング代含む
(2) 役員会	73,000	100,000	役員・評議員会　2回
旅費	22,000	40,000	
軽食代	51,000	60,000	延べ34名
事業費	263,421	1,050,000	
(1) 会報誌発刊	263,421	150,000	挨拶状印刷代を含む
(2) 同窓会名簿作成	0	900,000	
事務費	321,160	430,000	
(1) 通信費	304,150	380,000	同窓会誌発送代を含む
(2) 消耗品	17,010	10,000	80円切手、プリンタラベル
(3) 印刷費	0	20,000	
(4) パソコン関連費	0	0	
(5) 名簿作成費	0	0	
(6) 雑費	0	20,000	
入学式	4,000	7,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	4,000	7,000	
卒業式	226,208	310,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	3,000	10,000	
(3) 記念品・花束	223,208	300,000	記念品192,008円、花束31,200円
大学支援金	348,231	350,000	(大学支援金内訳) オープンキャンパス：104,696円 卒業生保健師研修会：24,623円 大学祭：50,000円 同窓会の大学祭参加費：158,912円 退官教員花束（2名）：10,000円
支出小計	1,424,555	2,617,000	
積立金	0	0	
次年度繰越金	2,592,534	1,283,353	
支出合計	4,017,089	3,900,353	

積立金

ゆうちょ銀行	6,000,000
百十四銀行	4,000,000

平成26年度予算

収入の部

	26年度予算額	25年度決算額	内訳
会費収入	1,920,000	1,962,000	新入会員80名
寄付	0	0	
雑収入	500	736	利子等
繰入金	2,592,534	1,979,853	
同窓会懇親会参加費	0	74,500	
その他	0	0	
合計	4,513,034	4,017,089	

支出の部

会議費	100,000	261,535	
(1) 総会	0	188,535	
講演費	0	50,000	
警備費	0	0	
電気代	0	14,971	
懇親会	0	108,664	
印刷費	0	0	
雑費	0	14,900	
(2) 役員会	100,000	73,000	役員・評議員会　2回
旅費	40,000	22,000	
軽食代	60,000	51,000	延べ40名
事業費	1,150,000	263,421	
(1) 会報誌発刊	250,000	263,421	挨拶状印刷代を含む
(2) 同窓会名簿作成	900,000	0	
事務費	340,000	321,160	
(1) 通信費	300,000	304,150	同窓会誌発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	17,010	
(3) 印刷費	0	0	
(4) パソコン関連費	0	0	
(5) 雑費	20,000	0	
入学式	7,000	4,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	7,000	4,000	
卒業式	307,000	226,208	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	7,000	3,000	
(3) 記念品・花束	300,000	223,208	
大学支援金	1,500,000	348,231	
支出小計	3,404,000	1,424,555	
予備費	0	0	
次年度繰越金	1,109,034	2,592,534	
支出合計	4,513,034	4,017,089	

積立金

ゆうちょ銀行	6,000,000
百十四銀行	4,000,000

平成26年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会 事業計画

1．組織に関する事項

1）会員増加対策
…短大卒業生・大学在学生の未加入者への働きかけ

2）役員・評議員会…年2回

3）講演会、研修会

2．同窓会情報に関する事項

1）会報誌11号の発刊…年1回

2）香川県立保健医療大学ホームページ
…同窓会コーナーの開設

3．在学生に関する事項

1）大学教育への支援：
大学祭、図書館、オープンキャンパス、講演会など

2）就職支援：在学生と卒業生との交流など

3）卒業・修了式：
卒業・修了生に花束贈呈、
学生会員の卒業・修了生に記念品の贈呈

香川県立保健医療大学 同窓会通常会員入会状況

（平成26年8月26日現在）

歴代学校名	人数（人）
香川県衛生検査技師養成所	149
香川県臨床検査専門学校	347
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,177
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	449
計	2,122
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科（～第7期生）	116
香川県立保健医療大学看護学科（～第7期生）	357
香川県立保健医療大学助産学専攻科（～第3期生）	2
計	475
臨床検査学科在学生（うち平成26年度新入会員）	74 (19)
看護学科在学生（うち平成26年度新入会員）	246 (65)
助産学専攻科（うち平成26年度新入会員）	0 (0)
計	320
合計	3,085

香川県立保健医療大学 同窓会役員名簿

（平成26年10月31日現在）

役職名	氏名	回生	区域
会長代行(副会長)	池田　繁信	臨専　5	高松
副会長	藤井加芳子	看専14	高松
副会長	中添　和代	看専17	教員
幹事(会計)	大星　航	大学3 検査学科	教員
幹事(会計)	平井智重子	看専39	教員
幹事	平川栄一郎	臨床検査学科教員	教員
幹事	土居　歩実	大学9看護学科3年	学生
監事	宮川　朱美	臨専　9	高松
監事	石田　視鈴	短大　4	高松
評議員	渡邉　由香	看専23	中讃
評議員	松原　文子	公助14	高松
評議員	吉本　和子	臨専　9	高松
評議員	堀井　和世	短大検2	高松
評議員	植村　裕子	看専34	教員
評議員	石川　朱美	看専19	中讃
評議員	宍戸　誠	臨専　2	中讃
評議員	冨田美恵子	看専15	東讃
評議員	三木真奈美	大学8 看護学科4年	学生
評議員	鈴木　絢子	大学8 検査学科4年	学生

国家試験の合格

例年、全国平均よりかなり高い合格率を維持しています。

	種　別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
平成25年度	受験者数	70	70	10	17
	合格者数	69	67	10	17
	合格率（%）	98.6	95.7	100.0	100.0
		(95.1)	(88.8)	(97.6)	(81.2)

合格率の（　）数字：看護師・保健師・助産師は新卒者の全国平均を示す。臨床検査技師は全体の全国平均を示す。

住所変更は、小野高速印刷㈱までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288　FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info